

ASNITE試験事業者(環境等)に係る
認定の区分一覧

(第1版)

独立行政法人製品評価技術基盤機構
認定センター

ASNITE試験事業者(環境)認定区分一覧

製品評価技術基盤機構認定制度(ASNITE)における環境等分野の試験事業に係る認定の区分は、表1に定める認定分野(分類A)と表2に定める試験技術(分類B)を組み合わせた区分とする。

なお、「認定業務に係る手数料規程第2節5. 2」に規定する合計区分数は、「カテゴリー」ごとに「サブカテゴリー」と「試験技術」の組み合わせの種類数(同じ組み合わせが2以上ある場合は、これらをまとめて1種類とする。)を求め、各カテゴリーの種類数を合算したものである。(別紙の合計区分数の算出例を参照のこと)

附則

この規程は、平成22年10月1日から施行する。

表1 認定分野(分類A)

認定分野		例示		
カテゴリー	サブカテゴリー	製品・対象の例	試験の種類例・規格番号等(例示以外の公的・私的方法も含む)	
1.環境	.10大気	無機ガス、有機物質 重金属、粒子物質 放射性核種	環境基準、ばい煙、 特定粉じん、特定物質、 悪臭物質、放射能、等	環告第4、5、6号(JISK0088、0305等) 環告第9号(JISK0099、0109等) 環告第25号(JISB7952等)等
	.20水質	上水、環境水(河川、湖沼、地下水、海水) 排水(下水、工場) 重金属、有機物質、浮遊物質、 溶存酸素量、生化学的酸素要求量、 化学的酸素要求量、全窒素、 全燐、pH、シアン化合物、有機燐放射性核種	人の健康項目 生活環境項目 要監視項目 農薬の水質評価指針 排水基準、悪臭物質 放射能、等	環告第10、30、39、59、64号(JISK0102)等
	.30土壌	総水銀、有機燐、全シアン、農薬類 PCB、有機塩素化合物、重金属、セレン 放射性核種	人の健康項目 生活環境項目 要監視項目 農薬の水質評価指針 排水基準、悪臭物質 放射能、等	環告第46、64号(JISK0102、0125)、環告59号等
	.40固形廃棄物			環告第13、14号(JISK0102、0125等)、 環告16、17号等
	.50残留物			環告第26、27、厚生省告示第234号
	.99その他			
2.ゴム及び プラスチック	.10原材料	樹脂ペレット、生ゴム等	化学試験	IR(JISK6230等)、NMR、X線回析、原子吸光、ICP-AES、ICP-MS、GC、 GC/MS、衛生試験、遊離イオウ、カーボンブラック 定量、溶剤抽出物、灰分
	.20製品	パイプ、水道管、ガス管、タイヤ、ベルト等	物理試験	引張試験(JISK6251等)、曲げ試験、クリープ試験、硬さ試験、 摩耗試験、圧縮試験、密度・比重、粘度、吸水率
			耐久性試験	耐候性(JISK6266等)、耐老化性(JISK6257等)、オゾン劣化、 耐薬品性
	.30添加物	ゴム及びプラスチック中のCd,Cr,Pb,Hg等含有率	電気試験	耐電圧、絶縁抵抗、誘電正接、低効率等
			熱的試験	MI、荷重たわみ試験、ピカット軟化温度、TMA、DSC、 TG、ぜい化温度、燃焼試験
			光特性	光学特性、屈折率
	.99その他製品		表面分析	その他試験

認定分野		例示		
カテゴリー	サブカテゴリー	製品・対象の例	試験の種類例・規格番号等(例示以外の公的・私的方法も含む)	
3.塗料及び顔料	.10塗料	上塗塗料、中塗塗料、下塗塗料	化学試験	JISK5407(塗料成分試験方法):加熱減量・残分・灰分、 溶剤不溶物、湿式容量分析、IR、X線回折
			物理試験	JISK5400(塗料性状試験):密度、粘度、ポットライフ
			安定性試験	JISK5400低温安定性、貯蔵安定性、皮張り性
	.20塗膜	上塗塗膜、中塗塗膜、下塗塗膜	化学試験	JISK5400耐アルカリ性、耐酸性、耐沸騰水性、耐塩水性
			物理試験	JISK5400耐屈曲性、エリクセン値、耐衝撃性、鉛筆引っ掻値、 付着性、引張と伸度、摩耗性、耐汚染性、耐洗浄性、非粘着性
			耐久性試験	JISK5400耐候性、耐塩水噴霧、耐湿性、温度サイクル、防錆性、
.30塗料	エポキシ樹脂及び硬化剤	化学試験	JISK7231(エポキシ樹脂及び硬化剤の試験方法):エポキシ当量、 全アミン価、比重、粘度、軟化点、加熱減量	
.50顔料	有機/無機着色顔料、金属顔料、体質顔料	物理試験	JISK5101(顔料試験方法)着色力、サンプリング法、分散方法、	
.99その他製品	建築用仕上げ塗材		JISA6909塗材の品質	
4.化学工業製品	.10無機化学製品	アンモニア、硫酸、ソーダ工業薬品、肥料 無機薬品	化学試験	アンモニア:乾燥減量(JISK1407)、純度(JISK1424) カセイソーダ:純度(JISK1200)、硫酸:強熱残分(JISK1321)
	.20有機化学製品	タール製品、芳香族化合物、複素環化合物 有機ハロゲン化合物、樹脂等添加物	物理化学試験	タール製品:蒸留試験、凝固点、組成分析(JISK2422) 芳香族化合物:全イオウ分(JISK2421)、融点(JISK4102)
	.30工業用ガス	ガス分析		有機ハロゲン化合物:純度、酸分(JISK1516)
	.40界面活性剤	アニオン、カチオン、ノニオン、石鹼		曇点、泡立ち試験、表面張力、等電点、
	その他製品			
5.石油及び 関連製品	.10原油		化学試験	TBP蒸留、組成分析、蒸気圧
	.20潤滑剤		物理化学試験	粘度、引火点、劣化試験、全酸価、 アルカリ価ASTM色度(JISK2580)
	.30燃料			JISK2249(密度)、屈折率、水分、発熱量、 オクタン価、セタン価、イオウ分(JISK2241)
	.40溶剤			純度、不純物、色相、密度、不揮発残留物、蒸留試験、
	.99その他製品	アスファルト等		アスファルト:薄膜加熱、針入度、軟化点(JISK2207)

認定分野		例示		
カテゴリー	サブカテゴリー	製品・対象の例	試験の種類例・規格番号等(例示以外の公的・私的方法も含む)	
6.食品	.10規格試験	乳脂肪分、ヒ素、細菌数、抗生物質、農薬	栄養改善法 食品衛生法	栄養表示基準(衛新第13号(平成11年)) 乳及び乳製品の成分規格に関する省令 (厚生省令第52号(昭和26年)) 厚生省告示第370号 食品添加物公定書解説 食品衛生検査指針
	.20栄養成分	たんぱく質、ビタミン		
	.30食品添加物	甘味料、酸化防止剤、保存料		
	.40農薬	有機塩素系、有機リン系		
	.50汚染物質	マイコトキシン、重金属		
	.60抗生物質	マクロライド系、ペニシリン系		
	.70動物用医薬品	合成抗菌剤、駆虫剤		
	.80微生物	食中毒菌、衛生指標菌		
	.99その他			
7.食品添加物 *1	.10規格試験	純度試験、含量		
8.おもちや	.10規格試験	重金属、蒸発残留物		
	.99その他			
9.器具容器包装	.10規格試験	材質試験、溶出試験		
	.99その他			
10.飲料水(上水)	.10規格試験	重金属、トリハロメタン	水道法 *2	
11.鉄、非鉄、 金属 セラミック	.10非鉄金属分析	銅、亜鉛、鉛 及びニッケルなど及びその合金	分析試験	銅及び銅合金(JISH1051)、鉛地金分析(JISH1121)
	.99その他			

- 1) 食品添加物そのものの規格試験(純度試験など)が対象
- 2) 水道法規制対象外の上水試験は環境分野(水質)とする。

表2 試験技術分類表(分類B))

試験技術	Code No.	試験技術	Code No.	試験技術	Code No.	試験技術	Code No.
スペクトル分析	A.00	顕微鏡分析 D.00	D.00	電気化学分析	H.00	プラスチック・ゴム物理試験	P.00
原子吸光分析	A.01	光学顕微鏡 D.01	D.01	ポーラログラフ分析	H.01	加工性試験	P.01
発光分光分析	A.02	－位相差顕微鏡		電解重量分析	H.02	－加工試験,成形加工試験	
ICP(誘導結合高周波プラズマ)	A.03	－偏光顕微鏡		電位差滴定分析	H.03	成形特性試験(レオロジー)	P.02
－ICP-AES		－化学顕微鏡		クーロメトリー	H.04	－粘弾性試験、メルトインデクサー	
－ICP-MS		透過型電子顕微鏡	D.02	電量滴定	H.05	機械的特性	P.03
蛍光分析・リン光分析	A.04	走査型電子顕微鏡	D.03			－引張試験、耐衝撃性、硬さ	
赤外分光分析	A.05	走査トンネル顕微鏡	D.04	放射能測定	J.00	屈曲試験	
化学発光	A.06			液体シンチレーション計測	J.01	耐久性試験	P.04
吸光度分析	A.07	クロマトグラフ分析	E.00	アルファ線スペクトロメトリー	J.02	－耐候性、耐熱、摩耗・破壊	
X線回折	A.08	ガスクロマトグラフ分析	E.01	ベータ線計測	J.03	－耐薬品性、塩水噴霧試験	
蛍光X線分析	A.09	液体クロマトグラフ分析	E.02	ガンマ線スペクトロメトリー	J.04	熱衝撃試験	
NMR(核磁気共鳴)	A.10	ゲル浸透クロマトグラフィー	E.03			電気特性試験	P.05
ESR(電子スピン共鳴)	A.11	イオンクロマトグラフ分析	E.04	熱分析	K.00	－絶縁破壊電圧、耐電圧	
質量分析	A.12	ガスクロマトグラフ質量分析	E.05	示差熱分析	K.01	熱的性質試験	P.06
放射化分析	A.13	液体クロマトグラフ質量分析	E.06	DMTA	K.02	－熱変形温度、ビカット軟化	
ラマン分光	A.14	薄層及びペーパークロマトグラフ	E.07	DETA(誘電熱分析)	K.03	光学的・物理特性試験	P.07
		電気泳動	E.08	DSC(示差走査熱量法)	K.04	－色測定、透明性測定、滑り性	
				熱量分析	K.05	ガス透過性	
表面分析技術	B.00	湿式化学分析	F.00	TGA(熱重量分析)	K.06	粘性試験	P.08
オージェ電子分光	B.01	重量分析	F.01	TMA	K.07		
電子線マイクロ分光	B.02	滴定法(容量分析)	F.02	マイクロ元素分析	L.00		
ESCA(X線光電子分光法)	B.03	定性分析	F.03	生物学的試験	M.00	塗料試験	Q.00
SIMS(2次イオン質量分析)	B.04	フローインジェクション分析	F.04	BOD(生物化学的酸素要求量)	M.01	促進腐食試験	Q.01
RHEED(反射高速電子回折)	B.05	カールフィシャー滴定法	F.05	生物発光法	M.02	環境試験	Q.02
EPMA	B.06	COD(化学的酸素要求量)	F.06	酵素免疫法	M.03	塗料の性状に関する試験	Q.03
				微生物定量法	M.04	塗料の貯蔵性に関する試験	Q.04
				酵素法	M.05	塗料の塗膜形成機能に関する試験	Q.05
粒子物性	C.00			バイオオートグラフ法	M.06	塗膜の視覚特性に関する試験	Q.06
密度	C.01	一般化学試験	G.00	その他	N.00	塗膜の抵抗性に関する試験	Q.07
粒度	C.02	蒸留試験	G.01	イオン電極法(含む pH測定)	N.01	塗膜の長期耐久性に関する試験	Q.08
空隙度	C.03	引火点	G.02	TOC(全有機炭素)	N.02		
コリゲーション	C.04	密度	G.03	TOX(全有機ハロゲン)	N.03		
		粘度	G.04	試金法	N.04		
				吸管分析	N.05		

合計区分数の算出例

以下の認定範囲の例については、次のとおり合計区分数を算出します。

1. カテゴリーが「1. 環境」の「サブカテゴリー」と「試験技術」を組み合わせた種類数の算出

・組み合わせは①～⑦の7個ですが、「②と③」及び「⑤と⑥」は同じ組み合わせなので種類数は全部で5になります。

2. カテゴリーが「2. ゴム及びプラスチック」の「サブカテゴリー」と「試験技術」を組み合わせた種類数の算出

・組み合わせは⑧～⑩の3個ですが、「⑨と⑩」は同じ組み合わせなので種類数は全部で2になります。

3. 合計区分数の算出

・「1. 環境」の種類数5と「2. ゴム及びプラスチック」の種類数2を合計する。

よって、手数料規程の合計区分数は7(=5+2)となります。

例) 認定範囲

認定区分		試験技術	試験項目	試験規格番号	
分野					
カテゴリー	サブカテゴリー				
1.環境	.10 大気	A.03 ICP/MS	Cd、Pb、Cr/大気	有害大気汚染物質測定方法マニュアル	①
		E.05 GC/MS	ダイオキシン類/環境大気	ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル	②
		E.05 GC/MS	VOC/大気	平成9年2月環大規大27号	③
	.20 水質	A.03 ICP/MS	鉛、カドミウム/下水	平成20年環告42号	④
		E.05 GC/MS	VOC/地下水	平成9年環境庁告示第10号	⑤
		E.05 GC/MS	ダイオキシン類/環境水	平成11年環境省告示第68号	⑥
		F.06 COD	COD/環境水	環告第123号	⑦
2.ゴム及びプラスチック	.30 添加物	A.01 原子吸光分析	Hg/有機化学製品	化学製品中の微量金属測定法(還流冷却/酸分解-還元気化)	⑧
		A.03 ICP-AES	Cd/プラスチック	BS EN○○○○	⑨
		A.03 ICP-AES	Cd、Pb、Cr/有機化学製品	化学製品中の微量金属測定法(密閉系酸分解-ICP)	⑩